

下野先生にもっと聴きたい!

# 臨床現場で見る 歯周組織の炎症と 治癒のメカニズム



東京歯科大学 名誉教授  
下野 正基 講師

2024年  
11月 24日

12:00-16:00

※終了時間が16:00に変更になりました。

会場 千里ライフサイエンスセンター 山村雄一記念ライフホール  
(大阪府 千里中央駅すぐ)  
対象 歯科医師、歯科衛生士  
受講料 歯科医師：¥14,300(税込) 歯科衛生士：¥9,900(税込)

20 YEARS  
NDL mint-seminar  
20周年記念  
特別講演会

歯周組織における炎症と治癒のメカニズムについて、「臨床の疑問に基礎が答える」という形をとりながらわかりやすく解説したいと思っております。

歯が歯槽という内部環境から上皮を貫通して、口腔という外部環境に突出しているため、歯周組織、とりわけ歯肉の存在は生体防御からみても重要です。歯周疾患はプラークが原因となって生じる炎症性疾患です。炎症の最も重要な変化は「滲出」、つまり血液成分が血管の外に出る現象が顕著となります。臨床的には発赤・腫脹・熱感等の症状が歯肉に現れます。

炎症の基本的治療法は「原因の除去」ですからプラークを完全に除去すれば炎症は収まるはずですが。

ところが、歯科衛生士の皆さんにとっては、問題はそんなに簡単ではなく、色々な臨床的疑問をお持ちなのであろうと想像しています。

歯周組織の炎症と治癒のメカニズムに関する皆さんの疑問にできるだけ多く回答したいと思います。

- 生体防御からみた歯肉の特殊性とは
- 臨床的に健康な歯周組織とは
- 歯肉縁上プラークと縁下プラークの違いとは
- プラークに対する歯周組織の反応とは
- BOP はなぜ重要なのか
- 歯肉の病態における可逆性と非可逆性の意味
- SRP はどこまでやればよいのか
- 長い付着上皮は短くなるのか
- 歯周病の新分類 (2017:AAP/EPP) からみえてくるものとは



## 下野 正基 講師 プロフィール

## PROFILE

- 1970年 東京歯科大学 卒業
- 1974年 ミラノ大学医学部薬理学研究所 客員研究員
- 1976年 東京歯科大学 歯学博士を取得
- 1990年 日本病理学会認定 口腔病理医
- 1991年 東京歯科大学病理学講座 主任教授
- 1998年 東京歯科大学 学監
- 2004年 東京歯科大学歯科衛生士専門学校 校長
- 2005年 FDI (世界歯科連盟) 理事
- 2006年 日本学術会議 連携委員
- 2011年 東京歯科大学 名誉教授
- 2012年 日本歯科医学会会長賞 受賞
- 2014年 日本老年歯科医学会功労賞 受賞



「やさしい治癒のしくみとはたらしき」  
医歯薬出版



「下野先生に聞いてみた」  
①ペリオ・インプラントの疑問に答える、  
指針がわかる」  
クインテッセンス出版



「成人矯正に必須の歯周治療  
適切な矯正歯科治療を  
行うために」  
医歯薬出版



「肉芽の科学と臨床」  
クインテッセンス出版



「決定版 治癒の病理」  
医歯薬出版



長谷 ますみ  
masumi nagatani

歯周病は基本治療で治せる時代であることを知っていただくために、長谷ますみから症例を通して臨床で直面する疑問を問題提起としてプレゼンし、それに対して下野先生からご講演、質疑応答をしていただきます

- 歯周ポケット内では何が起きているの？
- 付着の喪失はどんな風に起こるの？
- 不良肉芽と内縁上皮の感染について (キュレタージは必要なのか?)
- 急性炎症とはどのような状態? 抗菌療法との併用は有効か?
- SRPを行うタイミングはあるのか?
- SRPで感染除去を行った後の治癒応答はどのようにしておこるのか?
- 三壁性の骨欠損がSRPで回復するのはなぜか?
- セメント質剥離を起こしていても付着は起こるの?

<https://mint-seminar.com>

お申し込みは、ホームページより受け付けております。  
セミナーに関する詳しい情報やお問い合わせはホームページをご覧ください。  
ホームページより会員登録・お申し込みいただくと受講料の5%をポイント還元いたします。

お申し込み

✉ info@mint-seminar.com ☎ 06-7506-6520・090-9272-7318

NDL mint-seminar

ミントセミナー

検索